夕刊
磐城新聞
六月一日發行
（日曜祭日翌日休刊）

臺灣から

伊東一

二

恒春に入る（續）

花蓮港は四時波荒く艀を渡るさへ膽冷すと云ふ事なれど此道路を通る自動車も亦乘客の心膽を寒からしむ幾度か

それより臺東迄鐵道あれど亦南部に連絡なく自動車の便ありと雖も高雄臺東の國境は三里計りは僅に人通る山路ありと、今や花蓮港廳下タワキリ溪の奥地タロコ峽附近には四十億の砂金埋藏され之を目指し花蓮港は昨年より俄に三倍の人口增したり、タワキリの海底には昔より澤山の砂金埋れ居れりと云ひ傳へ、新高附近の蕃人の刀には金の地金を裝飾しありと云へば未發の寶も莫大ならん

東海岸は內地人入込み開墾したれば其風物西部平野よりは內地氣分溢れ若い女子の姉さんかぶりの田植姿を見る事も出來れば、白壁の家も見ゆと、然し花蓮港の移住民は賃金安しと土民を使つて農耕するが故成功覺束なく臺東の移住農民は自ら耕し自作し居れば將來見るべきものあらんと云ふ

帝國の南端鵞鑾鼻燈台を見る

五月二十一日日に二回のバスあるを幸ひ午後のバスに投じて帝國の最南端鵞鑾鼻燈台に至る

恒春より三哩六分土地の者が東洋一と誇る松並木の街道を飛せば程なく南灣に達す、右の岬を猫鼻と稱し左岬を鵞ラン鼻と云ふ今バスの着た所を大坂埒とて東洋捕鯨會社臺灣事業場あり是より僅か行けば總督總の種畜場あり、歸途こゝに寄る事とし一途に行けば海岸に小舟一、二艘浮べる小やかなる灣あり、譚子灣と云ふ、昔英國船の暗礁に乘りあげこゝに避難し蕃人に殺害されたる處なりと、後日英國軍艦この蕃社を攻めたるも反つて打負かされて逃れしと、蕃社はイラルと稱し、往時英米人を屢々惱ませしと云ふ、今この南灣に儒良とて天然記念物として保護せらるゝ動物あり多く此邊より沖繩の海に住みザラシに似て毛少なく哺乳の獸とて海中に見に乳を呑ませる風人に似て人魚とも稱し、舟人等に面白き傳說あり、余は惜しくも未だ之を見ず此處より行けば船帆石とて高サ十米許りの帆に似た巨石ありて此邊奇巖多く亦往還に沿ふて自然の熱帶植物の原始林あり、珍草樹木鬱蒼として繁茂し日を遮し百花競ひ百鳥啼いて幽邃なり、亦此邊珊瑚礁の隆起したる土質なれば山と云ひ巖と云ひ、形態姿趣と妙ありと思へば、草苔饅頭の如き山あり、なだらかに青木茂つて橫たわる丘あり、樹間の巖も肌を現し熱帶國特有の風致ある色彩濃厚なく縱橫に亂立する樹間の珍木に一々名札を貼して行人の參考に資すと見れば臺灣栗鼠の道に躍る、聞けば野猪兎チヨキと稱する獸等夜間道に出て毒蛇も多しと

磐城歌壇

新妻久滿夫選

『花によせて』　龍子

○芍藥を見つめてありしひとゝきの、眼のつかれかな强き陽のもと

○藤つゝじ山吹なども咲けるらし、五月はまぶしく陽も明くして

○夏來れば桐の花ちる山畑の、土の香などもなつかしきかな

○ことさらにゆゑはあらねど紫陽花の、咲けば佗しく物想ふなり

○闇の色這ひ寄るなかに木蓮の、しつとり咲ける夕深みかな

○わが歌の師にまゐらせん矢車の、花は乏しく我に似るゆゑ

小評　第二首上の句受け難い。想像の裡に咲かせずに、現實に咲いてゐる樣にし尙場所をも指示した方よろし。例へば『……の花咲く庭の』。第三首の四句は歌の中心であるから『……なども』では微弱になつてしまう。第四首上の句は自己の或る意識を僞つてゐる爲にかく念入りに斷つてゐるのであらう。第五首の『夕深みかな』は不要。その他結句をもつと活かす樣にして欲しい。

隨意詠草の外左記題詠を募集す

一、霧。苺　一題二首以內

締切　六月六日

雲の色

若葉みどり

白い雲は淸淨よ
澄み切つた蒼空に
軟かく流れて
×
赤い雲は熱情よ？
曙光と共に映ゆる色は
希望にふちて
×
紫の雲は哀調よ？
甘い感傷と憧憬を
夕陽に秘めて

社會の今日

6月2日

△本能寺の變（天正一〇）△明治天皇東奥御巡幸（明治九）△山東條約批准交換（大正一一）△リツトン卿本庄司令官を訪問最後の調査をなす△白川大將陸軍葬△チヤプリン歸米△ドイツ內閣バーペン氏組閣完了（昭和七）

○

燕子花青葉がくれに搖れてゐつ、小蟹は今し下葉を這へり　渡邊登陽

人間心理と自然科學としての心理學とは別物だ　橫光利一

講談　浪人長屋

(102)　日岐武志作　月草道子畫

立ちぎき

『ちねッ』

一平は、倉田屋の表へぶらりと立ち出でると、舌打した

『うまくやつてらア、先生あの手で、何人泣かしたもんかわかつたもんぢやねねちえッ』

一平は、も一度舌打ちして、ぶらぶらと、步き出した。草津の夜は、いたく更けてゐた兩側の溫泉宿は、いづれも戶をおろしてゐてひつそりとしづまつてゐた、もう〳〵と湯氣が、そこらの落滯から、白々と立ちのぼるのが、夜目にも見れた。黑い山の上に、星がまたゝいてゐた

『ぶるッ、さむいな』

一平は、懷手をして、かたをそぼめた

『もう冬だからな。雪の來ねえうちに、おさらばをするんだな』

どこかで、ふくろうが、不氣味な聲で啼いてゐる

『先生が、お新をものにしたからにや、今度は、おれの番だ』

一平は、步きながら、北叟笑んでゐた

『先づ、十中八九まで、小菊のお孃さまは、この一平のものさ、があんなおぼこ娘ぢや、女房にしちやはり合がねえ情が移らねえうちに、高崎か、安中あたりの、お女郎にたゝき賣ッちやうが一番さ、まづ、あの品物ぢや、かうと、二百兩は、だまつて懷ころへ轉がり込まアねえふン、惡かねえ二百兩は、ぴんり缺けつこはねえふンわるかねえ、二百だせ、當分の酒代にやつまらねえッてことよ』

獨りで勝手にもくろんで悅に入るのである

『ふン惡かあねえ』

と、つぶやき

『ところで、今夜は之から！どうするかな、どこかで一杯えやりてえもんだが、どこかに起きてるうちはねいかな、やけに、ひえ込んできやがつた』

龜の子のやうに首をそぼめて、ぶらぶらといつしか上州屋の前へ來てゐた

一平は、なんとおもつたか暗い路地をはいつて行つた

上州屋の裏塀を、ひらりと乘り越ゑて裏庭へ下りた

『たや、娘のくせに、まだ起きてやがらア』

見れば、はなれの小菊の部屋は、この夜更けだといふのに灯があかるくともつてゐて、男と女のかげが、障子にうつゝて居る

『おやッ』

一平は、おもはずつぶやいた

『驚いたね。あんな虫も殺さねゑやうな面をひつぱりこんで、ちよう〳〵、なん〳〵とは、あきれたもんだね……』

一平は、築山をまはつて足音をしのばせ、はなれの方へ近寄つて行つた

——ど奴が、なにしてゐやがるか立ちぎきしてやらうせ………

妬ましさが背筋を走る

『へ、へーえ』

にんやりとして、ぬれ椽に、近づいた。障子の二つの影は、むかひあつて坐つて、なんだか思案げに、うなだれてゐるらしい

『ほんに、どうしませうね』

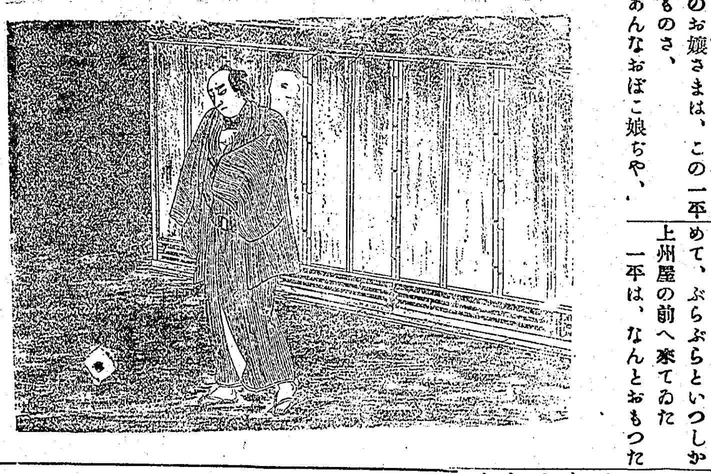
おろおろと淚を含んだ小菊の聲である

——おやツ、いやに濕ッぽいところが、見られるとおもつたんだが……

一平は、きゝ耳立てゝぢッと息を殺して、尙もうかゞつた

『た父さまが、亡くなられて、まだ日も立たぬうちに、またお母さまが、惡い奴にこんなことになるなんて、あたしたちはなんてふしあはせでせうね』

小菊は、泣いてゐた



六月中主要放送種目

二日　新日本音樂夜間は州戶穩山より小鳥啼聲實況物語、常磐津と管絃樂

三日　午前六時半から七時迄社會見學として、大阪中央卸賣市場の實況中繼、午前十一時十分より東北帝大助教授小林敦男氏の『言語學：概念』午後滿洲中繼と世話狂言の午後一時五十分迄、野球實況、七時半より京城中繼の演藝と杵屋佐吉一派の長唄『浪花の四季』寄席めぐり第一夜

四日　米國より五日間信中繼、時間は毎日五時四十分より六時迄、晝間は琵琶午後、夜間はドラマ、小唄と本夕より三日間連續講談あり

五日　浪花節、大阪を主題とせる歌謠曲と地唄

六日　滿洲中繼、東北の民謠を語る座談會と紀州熊野神社田樂部員の田樂

七日　管絃樂、文樂座中繼の人形淨瑠璃と大阪發の東西寄席めぐり第二夜

八日　說敎節、俚謠、佐藤美子の獨唱と浪花節

九日　戶山學校軍樂隊の吹奏樂、物語、等曲と長唄

十日　滿洲中繼、映畫の午後、絃樂四重奏、歌謠と東西寄席めぐり第三夜

十一日　新日本音樂、舞臺中繼と管絃樂

十二日　獨唱と室內樂、講演後うた澤とドラマ

十三日　晝間滿洲中繼、夜間の講演は仙臺より出中繼、舞臺劇中繼と春太夫の新內

十四日　晝間は謠曲、夜は落語、小唄と浪花節

十五日　管絃樂、仙臺發の童話劇演出はHK子供會の夜間の講演は京城中繼、浪花節と竹本東廣の義太夫

十六日　俚謠、七時半より少年少女の夕を開催す

十七日　滿洲中繼、午後七時半より一時間臺灣施政記念の夕を開催し次いで東西寄席めぐり第四夜

十八日　映畫物語、當局出全國中繼の『伊達姿江戶錦繪』尙本夕より三日間連續講談あり

十九日　吹奏樂、ドラマと連續講談第二席

二十日　滿洲中繼、ドラマと講談終席

二十一日　箏曲、狂言、獨唱と管絃樂、新內

二十二日　和洋合奏、レヴュー、浮世節と浪花節

二十三日　管絃樂、物語琵琶、講談と時事解說

二十四日　午前十時四十分京都開局記念講演、滿洲中繼と新人の午後、日本放送交響樂團の長唄と富本、東西寄席めぐり第五夜

二十五日　漫談、福井直俊ピアノ獨奏と豊竹つばめ太夫の義太夫

二十六日　明淸樂、謠曲と市川右團次一座の舞臺劇

二十七日　滿洲中繼、浪花節と地唄、長唄

二十八日　琵琶、浪花節と東西寄席めぐり第六夜

二十九日　海軍軍樂隊の吹奏樂、愛知第一師範學校長中村豊吉氏の『敎育者としての細井平洲』浪花節とリプレヒト、大阪交響樂團のヴアイオリン、コンチエルト

三十日　落語、住吉神社祭實況中繼、物語、等曲、歌謠曲と時事解說

廣告

大藏省允許
磐城無盡
斷然群ヲ拔ク
自力更生　無盡
簡易ノ金融
趣味ノ貯蓄
共存共榮
誠實堅實

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

五月節句品陳列
武者人形
オボコ人形
御座敷幟
布鯉
外幟
各種豐富に陳列致しました
御立寄を御待ち申して居ります。
平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番

◎電話新設
五四五番!!!
御寫眞は最近著しい進步いたしました。『最新の採光と自然の御姿勢を』常に尊重して御寫し申上たいと存じます。尙ほ出張撮影御急ぎの場合は是非電話五四五番へ御願いたします。
平町仲田町
大野寫眞館
電話五四五番

魂の這入つた
自轉車
フタバ式リヤカー發賣元
フタバ商會
平・新川町・月見橋際

石炭
コークス
玉炭
平驛前
㋡阿部石炭商店
電話三七番

診療科目
開業
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野悳次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ヒ）電話五〇九番

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
醫學士　山內亨吉
電話六九一番
入院隨時
病室備完
（看護婦見習一名入用）

パラソルと繪日傘
御高覽願上候
…初夏の服裝品、豐富に取揃申候…
㊣中野洋品店
平　二・電　五三

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
◎秤ノ取緒・垂糸・修換致シマス
關內藥局
電話四〇番

徽章
團体徽章一ケ一錢ヨリ
御一報次第見本持參仕候
平町田町
ハシモトヤ糸店
電一一四

漁村經濟更生指導に 農林省で四倉町を選定

事前に來六日縣で基本調査

農林省では今年度において全國二十の漁村經濟更生を指導することになり本縣では相馬郡磯部、本郡四倉の兩町村を選定したが農林省では帝國水産會等と協力し實地指導をなすのは來る七月下旬か八月上旬になる豫定で本縣ではそれ以前に基本調査をなすことになつた、その日割は四倉町が六月五日、磯部村が六日で縣よりは水産課より鈴木技手、經濟更生課より成島技手が出張する筈

發送實に九十萬噸

全國の首位を占むる 昨年中の炭都綴驛

八年度東鐵管内各驛扱貨物數量調によると石炭發送に於いては磐炭を控へて居る綴驛は全國第一の八十七萬六千七百九十噸で斷然炭鑛王國の偉觀を呈して居る、之に次ぐ湯本驛は管内第二の三十萬千九百四十九噸で全國の第三十番、福島炭鑛の小川郷は二萬九千七百二十六噸管内第十位、有力な仲買入を持つ平は八十二噸で管内四十六位、尙ほ驛扱ひの梨は管内第三位で七百三噸、赤井第八位四百八十四噸、植田第十五位二百九十六噸、小川郷第二十一位百八十一噸、綴二十九位百十五噸である

であると

仙鐵管内第九位の四倉

セメントと鮮魚の四倉驛昨年度の貨物收入は三十五萬六千五百五十七圓で仙鐵管内の第九位を占め、發送セメントは全國第五位を占むる九萬八千二百九十五瓲で、尙之れに使用する燃料炭の同驛到着は四萬千五百六十六瓲で石炭丈けの到着では全國五十位

米價保合か

之以上昂るまいと 當局側の觀測

統制法が齎らした吊上改善の飛沫に泣く持米無き小農階級は郡内に約二割を算し何れも悲慘な苦吟を續けて居るが今一日の平農業倉庫の共同販賣は中央政界の暗雲に支配されて二十錢低落した前回に引續き如何に推移するか相當注目されてゐるが右に關し當局では『そろ／＼臺灣地方の新米が入り込む關係上これ以上に騰貴することは無からう』と云ふ觀測である

昨年に比して 壯丁の學力向上

本年度徵兵檢査了る

郡下の徵兵檢査は佐川徵兵執行官により去る十七日より平第一校講堂で執行、昨卅一日を以て終了したが

（括弧内は昨年）

適齡者二、〇九四（二、〇一五）適齡を超へた者七五（七九）遂せぬ者六五（一〇七）計二、二三四（二、二〇一）

教育程度（括弧の下は青訓を受けたる者）

不就學三五（三五）〇 尋小半途一六九（一、九三）四 尋小卒四〇三（三九四）三三 實補前期修四五（五八）高小卒八二五（七九六）一二一 實補後期修四七三（四二四）二三四 中等半途四三（八六）三 中等卒一六八（一五三）專門卒及在五九、四七）大學卒及在一四（一五）計二、二三四（二、二〇一）四〇八

で教育成績は

國語科

零點九三（一五一）二點一〇〇（一六一）四點三一二（三一二）六點四七六（四三五）八點五一六（五七八）十點四九五（三三六）

算術科

零點二七一（三二八）二點三〇三（三〇七）四點三〇八（三七九）六點三〇四（三九一）八點三五五（三四〇）十點四五一（二二七）

公民科

零點二三六（三七二）一點四六（六八）二點六五（七八）三點 九二（一〇四）四點一二四（一六三）五點二一六（一六六）六點二七四（二〇五）七點三一九（二五七）八點三七九（三一一）九點三六〇（三三五）十點一二一（一〇七）

で國語、算術は中等半途以下のもの千九百九十二名採點し、平均國語七點八厘で昨年に比し九分一厘、算術五點五分三厘で七分四厘、公民科は全部採點し平均五點三分二厘で三分三厘の何れも向上を示してゐる、尙尋小半途以下の者の登校せぬ原因では

瘋癲、白痴四（二）不具癡疾一二（九）病弱發育不完全六（一一）學校嫌忌、學業不振六（三）家業手傳五二（六五）雇傭徒弟一二二（四二）出稼乘船〇（三）その他二〇 計二〇四（二二八）

又青訓關係では

青訓を受けた者四〇八（三五六）同半途一一（四四）同優良者一五〇（一四五）

等何れも些少ながら好成績を示してゐる

体質は低下

本籍者の檢査成績

本籍者千六百八十二名の檢査成績は

甲種―五四二名（三二、二二%）乙種―五八五名（三四、七八%）丙丁―五五五（三三%）

で昨年に比し甲種十四名、乙種六十七名の何れも減少に反し丙丁が八十四名の增加を示し、尙ほ花柳病、トラホーム患者は海岸、炭鑛地帶に非常に多く身長平均は一、五九九米で昨年に比較し〇、〇〇三、體重は五四、〇七四キロで一、八一四の何れも增加であると

炭鑛地の壯丁に 花柳病者が多い

風紀の頽唐を物語る數字

内郷村寄留壯丁者百三名の身體檢査は昨三十一日行はれたが結果は

甲種二六、第一乙種一七 第二乙種二七、丙種二五 丁種八

で炭鑛地昨今の風紀を物語るものか前年度並びに他町村に比較し花柳病者非常に多く係官も今更乍ら呆然たる態であつたと、右に關し村當局では誠にお恥しい限りであると語つて居る

女給群像の跳梁に 風紀取締座談會

あす全營業者を署に招集

平署管内の女給數は既報の如く總數百八十四名の多きに達し取分け最近頓に有卦に入りつゝある炭鑛地帶の如きは斷然平を尻目にかけた進出振りを示して居るが中には風紀を紊す樣なサービスに出るものも少くないので明二日午前九時から管内營業者を招集風紀取締座談會を同署會議室に開く事になつたと

地方球界の豪華版 濱三郡野球大會

來廿三四日磐中球場の壯觀

地方野球豪華版として毎年旋風的人氣を呼んで居る濱三郡中等學校野球大會は從來双葉中學が主催となり同校球場で華々しく開かれたが今年は磐中主催の下に愈々來る廿三、四の兩日に亘り同校グラウンドで開催される事に此程決定したが之に參加する同校をはじめ平商、双中、相中の各校では來る縣下大會の前哨戰として目下何れも猛練習を續け早くもファンの血を湧かして居る

軍樂隊の純益を 道場建設資金に寄附

近く平在軍から送金

平町在鄕軍人分會では既報の如く軍艦木曾の廻航を機として非常時觀念の强調に資すべく同艦軍樂隊を招聘磐女、聚樂館の兩所に於て演奏會を催し純益金約百圓を得たので之れを平町に割當てられた若松步兵第二十九聯隊凱旋記念劍術道場建設資金百六十圓二十錢中に寄附する事になつた

農繁托兒所

開設屆が續出

農繁季に直面して托兒所設置方がドシ／＼縣社會課へ屆出られるが昨卅一日迄の本郡關係は左記三ヶ所である

（小川）六月四日―十三日 小學校 （大野）同十七日―廿七日同（平町九品寺）同十二日―廿六日

。。。。。平土木委員會 明二日午後一時より町道使用願詮衡、公園内生草拂下、側溝工事費補助願の諸件を附議する

磐女運動獎勵

優勝楯と旗を新調

磐女では既報の如く課外の運動競技小會を設けて生徒のスポーツ向上に努めて居るが此程各學年別に球技優勝楯、競技優勝旗を新調して學期末に小會の得點を決算して之を授與すると

遺書に子を賴む

性病を苦にしたルンペン 昨日内郷夜警詰所で縊死

昨卅一日午後一時頃内郷村大字高坂字櫻井地内消防夜警詰所内に年齡四十五、六才一見ルンペン風の男が縊死してゐるを發見者の屆出でにより平署で檢視した。身元不明だが黴毒を悲觀しての結果らしく藥袋には只「子供を賴む」とあるのみなので引續き取調べ中である

磐女体育行事 磐女校で昨三十一日放課後三年生の運動競技小會リーグ戰を開いたが成績左の如く二組優勝した

一組―三點 二組―五點 三組―二點 四組―二點

尙ほ來る四日左記方面に遠足を行ふ

一年―夏井村專稱寺及び兒塚、二―大浦村長友、三―大野村藥王寺、四―内郷村白水阿彌陀堂

菜種小麥販賣協議

石城郡農會では昨卅一日午後一時から平團体事務所樓上に菜種及小麥の販賣統制共同販賣、包裝用叺及俵共同購入、金融、移出檢査其他を協議したが販賣豫定日割は

（菜種）七月廿五日、八月一日、同十日（小麥）七月廿五日、後五日間毎

で檢査場所は白米同樣左の如く日割りは生産品出廻り狀態を考慮後日決定すると

（菜種）勿來、錦、植田、平、小川、草野、四倉 （小麥）勿來、錦、植田、渡邊、泉、平、小川、平窪、神谷、四倉各農業倉庫

平署對古河劍道戰 來る十日午後一時から平署武道場で開くが平署（溫）、佐藤、長谷川、桑原、高子、鈴木（長）、込堂、芳賀、長山、高松、室井、大谷、渡邊

街々に夏を呼ぶ 澄んだ金魚！の聲

値だんは昨年と略同一

青葉のそよぎも輕やかに平地方には昨今金魚賣りの澄んだ聲が街々を流れて夏を呼んで居るが値段は昨年と大差なく普通物の小和が四錢、三つ尾の小和が十錢から十五錢どこで飼育用の大龍が組一圓二十錢、親大龍が一圓五、六十錢乃至三圓で出目金の普通物が二、三十錢位で何れも東京物であると

鋪裝後は給水工費値上

早く申請すること

平町幹線路鋪裝工事は昨報の如く近く着工されるが完成後の水道給水工事費は現在に比し非常に多額になる見込みなので表通り配水管より給水を受くべき需要者は此際申請するやう町では今一日一丁目―五丁目間の關係各區長にこれが周知方を通牒した

平區罰金科料色々

伜の慘敗に親爺憤慨

泣かした相手に暴行 全治十日の傷を負はす

四倉町仲町一六二長谷川利平（五三）は四月四日午後三時半頃同人長男定一郎（八）が同町古河正太郎（九）に泣かされたのを憤り追掛け同町長谷川酉次郎宅前で地上に倒れた正太郎を蹴る毆るの暴行に出で全治十日の頭部血腫を生ぜしめ科料十五圓

無免で運轉 江名町北町七一自動車運轉助手鈴木善吉（四二）は無免許で四月六日午前五時半頃平町五丁目大工町邊を運轉し罰金二十圓

袁玄道二人男 双葉郡上岡村大字本岡字後の森三三魚商鈴木豊（三二）は舊臘中夜の森遠藤鶴松方で十丹賭博をなし富岡町大字小良ケ濱字夜の森九六保險外交員菅井勇幸（三二）はその賭場に參集、兩名で小良ケ濱字松の前溜池場の遠藤鶴松、大岩市郎治と丁半賭博なし豊は罰金四十圓、勇幸は科料十圓

青酸加里で鰻密漁 植田町大字仁井田字寺前二九酒小賣商吉田勝馬（四二）山田村大字大林字大津三〇農小宅好秋（四〇）の兩名は共謀で昨年九月四日頃大林地内の小川で青酸加里を投入鰻その他一圓二十錢見當を採捕各罰金二十圓、

記帳を怠る 平町長橋町一五古物商菊地權右エ門（六二）は昨年十一月五日から三月五日頃迄に前後七回に亘り赤井村大字西小川字淵澤柳田德男その他から古鉋金約七貫餘（價格五圓七十五錢）を買受け乍ら記帳を怠り罰金十圓に。何れも此程平區より略式命令で處分された

▼▼▼▲▲▲

床し師弟愛

平第一校大正八年卒業の有志は既報の如く嚴く舊師である現學間校長大平喜一郎氏を招き『懷舊庭談會』を催す等只管舊恩に報ゆる師弟の親睦を圖つてゐるが嚴愛の大平氏は數へ子の一人で此程物故した五丁目山部誠君が病氣中は親しく之を見舞ひ先頃の葬儀に參列出來なかつたのが殘念だと一昨三十日の三七日には態々父兄と墓參を共し同窓生を感激せしめた

つつじの照明撤去

櫻に續いて絢爛たる美觀を呈した松ケ岡の躑躅に一入の精彩を添ねた四百餘個の雪洞並に五色燈は明後三日限り撤去すると

。。。。入營兵士歡送 平第三小學校では最近ボツ／＼出發する入營兵に對し國旗と新調の校旗を押し立て六年男子一同歡送し感激と嚴肅な氣分で大いに好評を博して居る

。。。。赤津貢美君除隊 昭和六年十二月以來滿洲獨立步兵十八聯隊にあり日夜軍務に勵精中であつた平町一丁目赤津貢美君は愈々昨三十一日滿期延期を解除され近く歸平すると

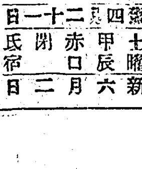
お披露目 最近花蝶を出した開花では結けさまに昨日『小宮』をプレートに送つた、以前も居た事あるので呼んで見れば其の當時の誰だか直く解ると

。。墜死 内郷村大字白水字廣畑後山夫飯沼源之助（三四）は昨三十一日午後九時頃同村神奈川炭礦坑外ズリ捨場で作業中誤つて高さ六十尺の崖より墜落腦震盪を起して即死したらしく今朝午前五時頃發見、平署より係官出張檢視した

二日

日出 四、二六 月出後一一、〇一
日沒 六、五一 月沒前 八、四一
滿潮 前七、一〇 後九、五五 干潮 前一、一五 後二、二〇

新 六月二日 七曜 土 甲辰 赤口 閉 氐宿 舊 四月二十一日



諸判定鑑 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神讃纂

▲一白の人 自繩自縛に陷る日辯舌を愼しみ爭を避けよ▲二黑の人 氣運に異狀なけれど進み過ぐるは災を招く▲三碧の人 無駄花多く實を結ぶこと少なし移轉建築凶▲四綠の人 人の援助を受けて好轉するも資力に誇るな▲五黃の人 平和に安んずべし無理の行動は妨げを生ず▲六白の人 高ければ高き程危險率增大す過なきを期せ▲七赤の人 涼風脳を吹き苦の疲れも一掃する快感あり▲八白の人 窓志通りに運ばぬ日移轉開業忌事控ゆべし▲九紫の人 去就進退は後日に大影響あり熟慮するが吉

廣告

大和田醫院 平町南町 電話一七〇番

井坂醫院 平町田町 電話五五九番

開業 内科一般 川井安子 川井内科診療所 平町南町六五（舊居） 電話二四三番

精神病科 腦脊髓病科 神經病科 郡山腦病院 郡山市外大槻村針生 郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁 院長醫學士 金森五郎 電話九二五番 入院隨時

外科專門 X光線科 入院隨意（自炊の便あり） 平南町 上田醫院（電話一一九） 病室完備

外科全般 特ニ內臟外科及ビ內、外、兩城疾患 醫學博士 渡部義夫 小兒科、內科 女醫 渡部きい 渡部外科 平町役場前、電話（二七七） 入院應需 診療午前八時ヨリ午後九時迄

高久病院（電話五三二番） 平町田町 内科 外科 耳鼻咽喉科 レントゲン科 小兒科 花柳病科 醫學士 高久忠 新潟醫學士 赤羽清 藥劑士 佐竹勝